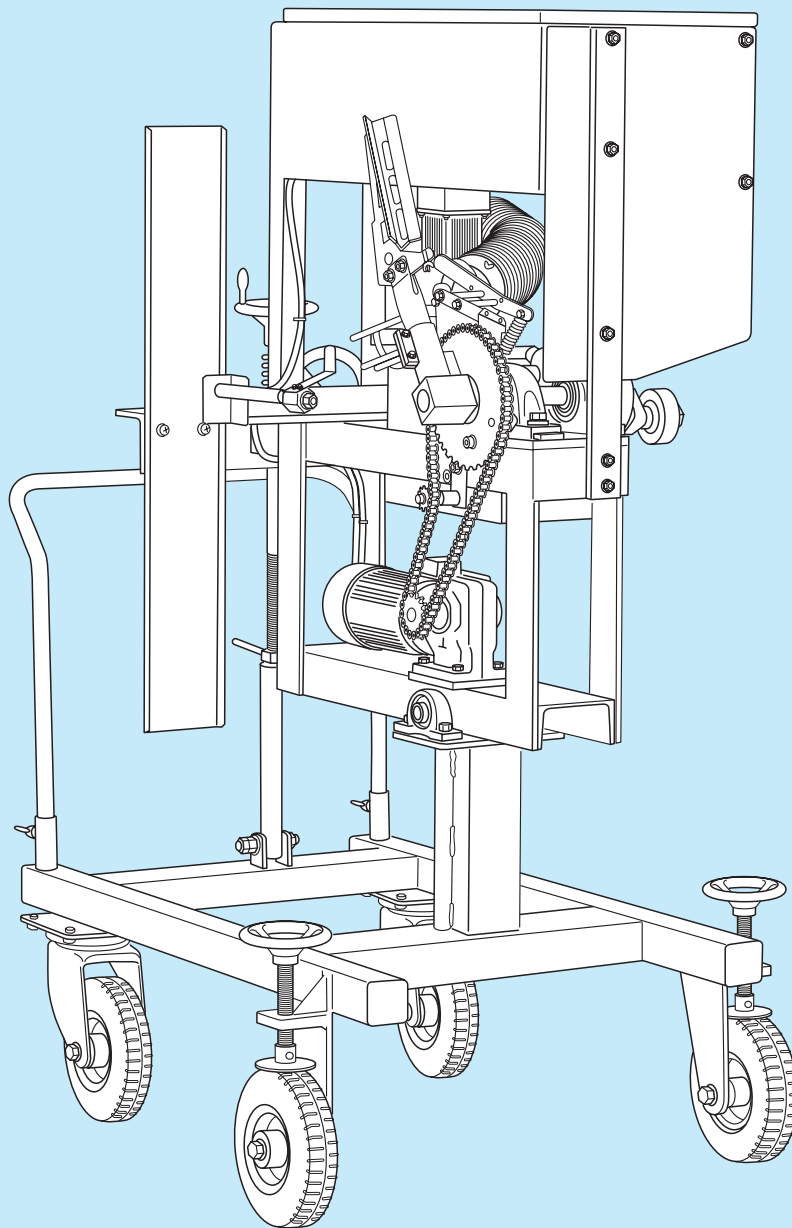
ARM TYPE PITCHING MACHINE

アームマシーンBAL・BAMタイプ

取扱説明書

■ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、弊社のピッチングマシーンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

※本書はマシーン使用者が、**いつでも読めるところに必ず保管**してください。
※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、**正しくお使いください。**
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、**あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもの**です。
※このマシーンは野球の練習以外には使用しないでください。
※絵表示と意味は次のようになっています。
※図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

⚠ **危険**　取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容を示しています。

取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容を示しています。

取り扱いを誤った場合、**「傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」**内容を示しています。

禁止の行為であることを告げるものです。

感電の恐れがあることを告げるものです。

行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

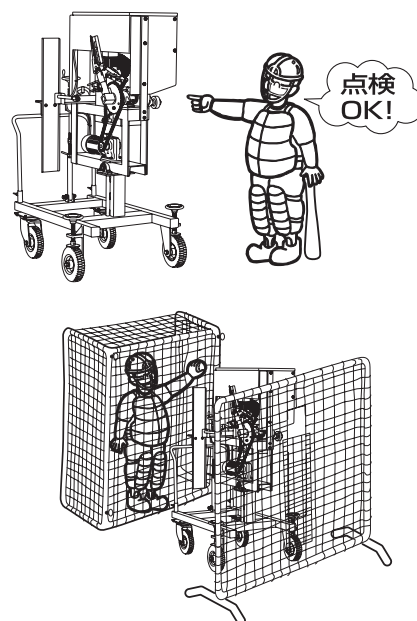
守っていただくべき義務行為を示しています。

発火の可能性のあることを告げるものです。

⚠ 危　険

- マシーンの取り扱いは、マシーンの危険性をこの説明書でよく理解された方が行ってください。
- 事故を防ぐ為に**マシーン使用前にはマシーン本体（リード線・ハンド・ウデ・スプリングなど）に異常がないか点検してください。特にウデに亀裂等がある場合は、ウデが飛んでいく恐れがあり大変危険です。必ず交換してください。**
- **マシーンを使用する時は、マシーン前ネット・マシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を設置し、マシーンを操作する人は安全の為に必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を着用してください。**
- **複数の打席で、同時にバッティング練習するときには、他打席の打球にも十分注意してください。**
- **破れたネットは打球が突き抜けてきて危険ですから、使用前に異常箇所が無いか確認してください。**

使用時の注意

⚠ 危　険

マシーンが２～３回空打ちをしても、マシーンを停止させるまで、絶対にマシーンの前に出ないでください。ボールストッカー内にボールが残っている場合があります。
（型式　BAL）

マシーン使用中にマシーンの振動が大きくなったり、異音がした場合は、直ちに電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜き、マシーンの使用を中止してください。

マシーンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管し、石灰と同じ場所には保管しないでください。石灰は空気中の水分を集めますので、湿気により商品の耐久性が落ちたりします。

球速やコントロールの調整時は大変危険ですからキャッチャー、バッターは定位置に付かないでください。

マシーン運転中は、危険ですから絶対にマシーンの前を横切らないようにしてください。

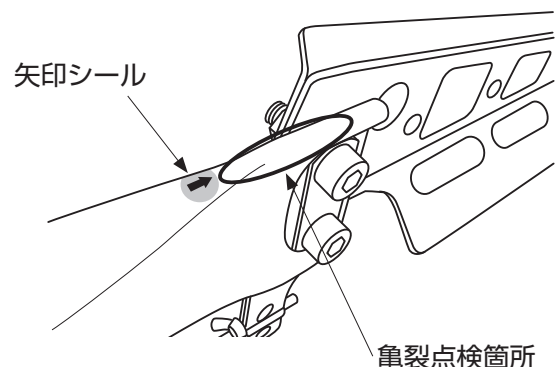
ボール投入時には、必ず声を出してバッターに合図をしてください。（型式　BAM）

回転している部分には、絶対に触れないでください。

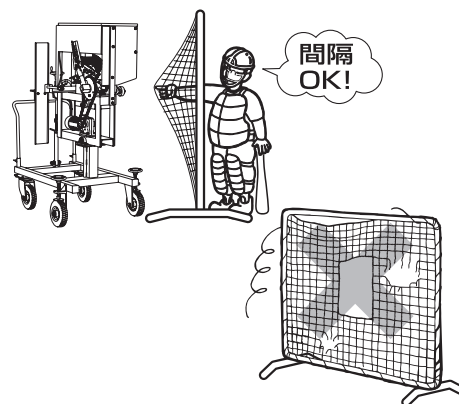
雨の日は、絶対にマシーンやコードリールを使用しないでください。また、マシーンやコードリールは水などで濡らさないように注意してください。
濡れた手で電源プラグに触ると感電の危険性があります。

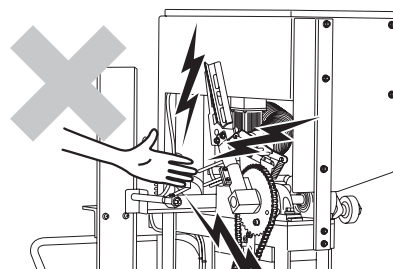
マシーンに表示されているボール以外は使用しないでください。ボールのスピードが変わり、コントロールが定まらなかったりして大変危険です。

マシーン運転中にボールの補給は絶対に行わないでください。（型式　BAL）

安全にご使用頂くために、使用前点検をお願い致します。
仕様変更により強度アップしていますが、使用し続けることにより亀裂が発生します。
亀裂が発生した状態で使用し続けると、ウデ・ハンドが破損し、飛んでいく恐れがあり大変危険です。
事故を未然に防ぐ為、マシーンの使用前には必ず２箇所（上下）に示す矢印付近に亀裂が発生していない事を確認したのち、使用してください。
亀裂が発生していた場合は、**〔ウデ・ハンドの交換〕**作業を参考に新しいウデに取替えてください。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

⚠ 警 告

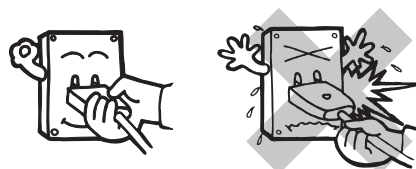
マシーンの前には、マシーン前ネットをネット部をマシーン側に軽く押して、マシーンのアーム部に接触しない間隔をあけて設置し動かないように固定してください。特に古くなりたるんだネットやロープが切れてぶらさがっているネットは、修復して使用してください。回転している部分に巻き込む恐れがあり大変危険です。

アースを接続しないと感電する恐れがありますので、アースは必ず接続して使用してください。

マシーン使用中は､マシーンの周辺及び使用範囲(ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。

革や糸が切れているボール､変形しているボールなど､傷みのひどいボールは使用しないでください。ボールがスリップして予想外の方向に飛ぶ恐れがあり大変危険です。

マシーンは絶対に分解しないでください。

弊社指定部品以外の部品は使用しないでください。

⚠ 注 意

差し込み電源プラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になり、大変危険です。

マシーンの移動は電源スイッチを切りマシーンが完全に停止したのを確認してから転倒させたり、ぶつけたりしないように注意して移動させてください。
※グランドはぬかるんだりして転倒につながる可能性が多くありますので注意してください。

使用時の注意

⚠ 注　意

コンセント仕様：2P・15A・125V
電　線　仕　様：VCT2.0mm² × 2

⊘ 濡れたボールは使用しないでください。スリップしてコントロールが悪くなります。

⊘ マシーンの仕様に応じたボール以外は使用しないでください。

❗ 硬さの一定しないボール・大きさの異なるボール・傷みのひどいボール、また、これらをまぜて使用すると、コントロールが悪くなります。

❗ コードリールのコードは全部引き出して使用してください。
巻いたまま使用すると、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあり大変危険です。（燃えることもあります。）

❗ ボール投球時は、必ず周囲の安全を確認してください。

❗ スピード調整直後はコントロールが悪くなる恐れがあります。

❗ マシーン本体分割時や車載する際は指などを挟まないように注意してください。

❗ マシーン使用中はハンドル部が上下に動きますので、ハンドルを持ったり、周辺に手や指を入れないでください。ケガをする恐れが有り、大変危険です。

❗ マシーン作動中は危険ですので、スプリングカバーの中には手を入れないでください。

マシーンの特長

- ボールが常に打者から見え、タイミングがとりやすくなりました。
- 投球後の振動を抑える静音設計により、マシーンは安定し正確なコントロール性能を実現。
- 連続120球のボール供給を可能にした、新構造ボールバケットで球づまりのしにくい設計です。（型式BAL）
- 新構造軽量ハンドでウデやその他部品への負担が軽減し、耐久性も向上しました。
- 減衰ロール（特許出願中）をスプリング上部に配置。従来アームマシーンに比べ静音設計。
- フリーハンガーの採用により、耐久性が向上しました。

マシーンが到着したら

- 到着したマシーンが、注文された商品であることを確認してください。
〈品番・使用電圧・使用球など〉

❗ 到着したマシーンが、運送途中、その他のトラブルなどで損傷、破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、マシーンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適用を受けることができなくなります。

- マシーンの到着より点検、確認、連絡まで５日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適用が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

もくじ

マシーン使用前に確認していただきたいこと

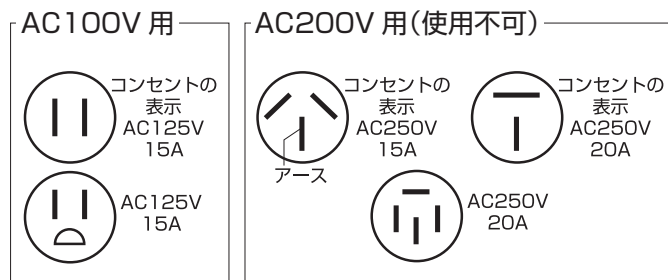
- マシーンに使用するコンセントの形状を確認してください。
- マシーンに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで実測してください。
- 使用するコンセントを変更する場合も同様に実測してください。
- この商品は **AC100V 専用**です。モーターが破損しますので **AC200V では絶対に使用しないでください**。
- マシーンに使用するコンセントは、**単独回路（20A）**で使用してください。
  下図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。

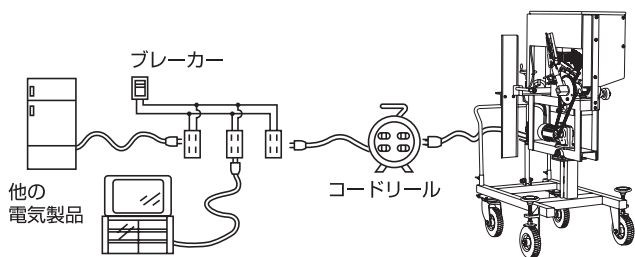
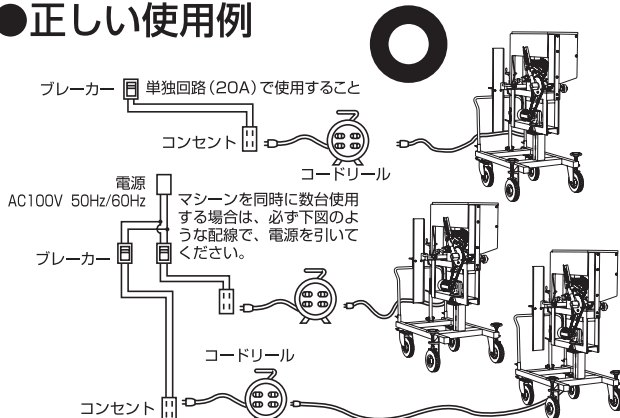
【代表例】

AC100V 用

- コンセントの表示 AC125V 15A
- AC125V 15A

AC200V 用（使用不可）

- コンセントの表示 AC250V 15A（アース）
- コンセントの表示 AC250V 20A
- AC250V 20A

コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。テスターにより、電圧を実測してください。

●誤った使用例

●正しい使用例

- マシーンに使用するコンセントのブレーカーは **20A（アンペア）以上**を使用してください。
- マシーン使用前には、必ず、リード線に傷などが入っていないことを確認してください。万一、被覆に傷があり、**銅線が見えている場合は、使用しないでください。**
- コードリールを使用する際、マシーンからコンセントまで距離が短い場合でも、**コードは必ず全部引き出してください。**
- コードリールの、全巻時の**最大定格電流は 7A** です。全て引き出したときに、**定格電流は 15A** になります。（100V・50m・15A 用）
- 電源に発電機を使用する場合は、**2.3kw 以上**の商品を使用してください。

注）20A（アンペア）以下のブレーカーを使用すると、マシーンの電源スイッチを入れ、速度を上げる途中でブレーカーが落ちる場合があります。（容量不足）

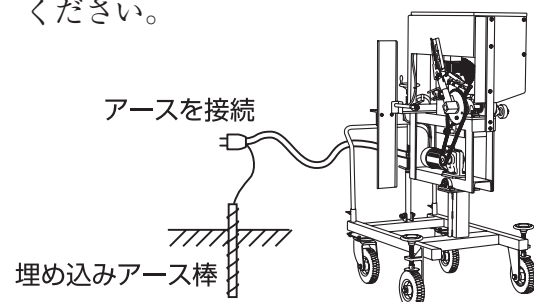
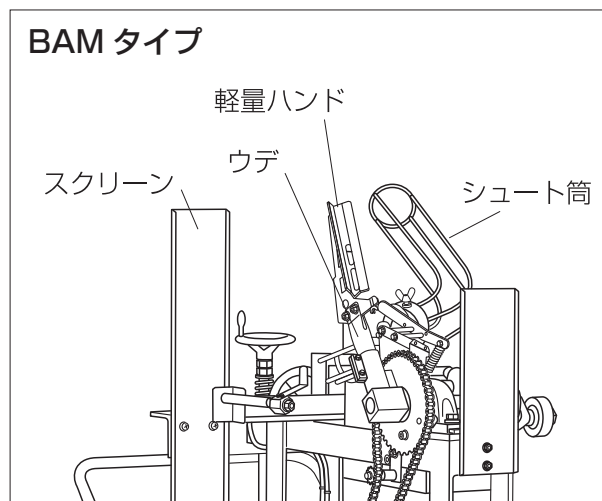
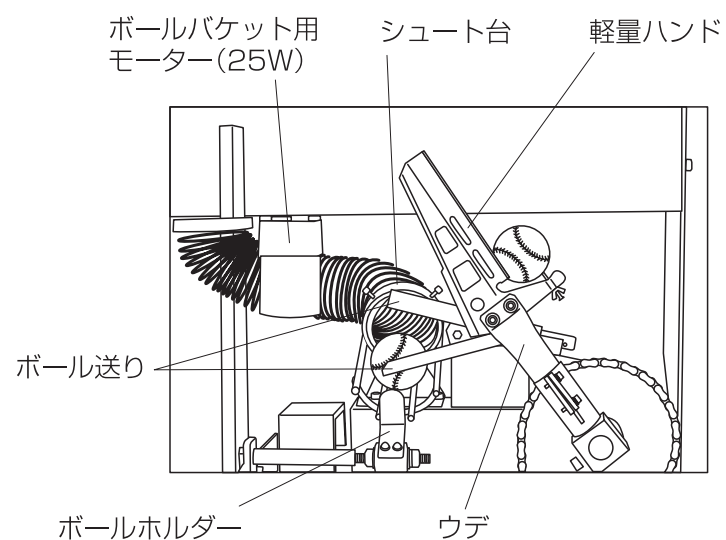
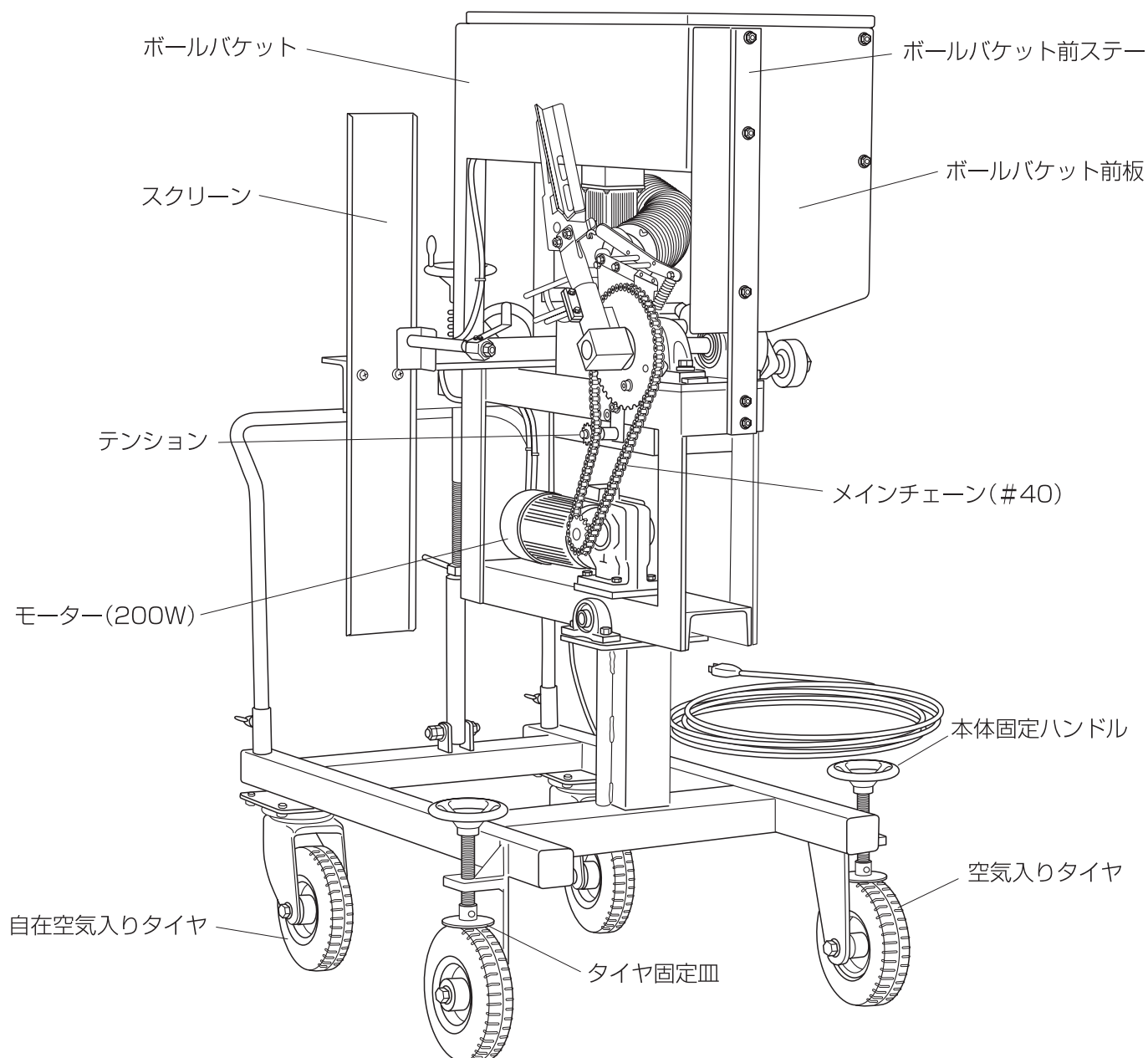
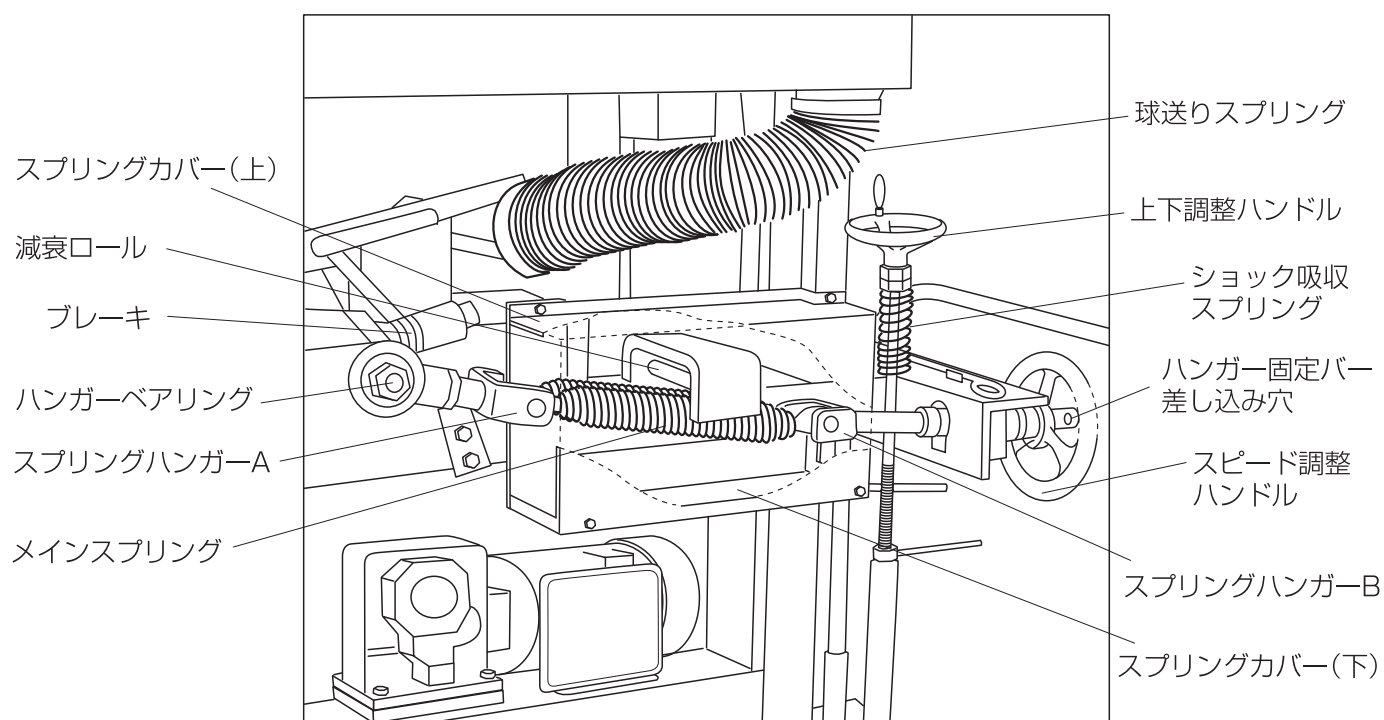
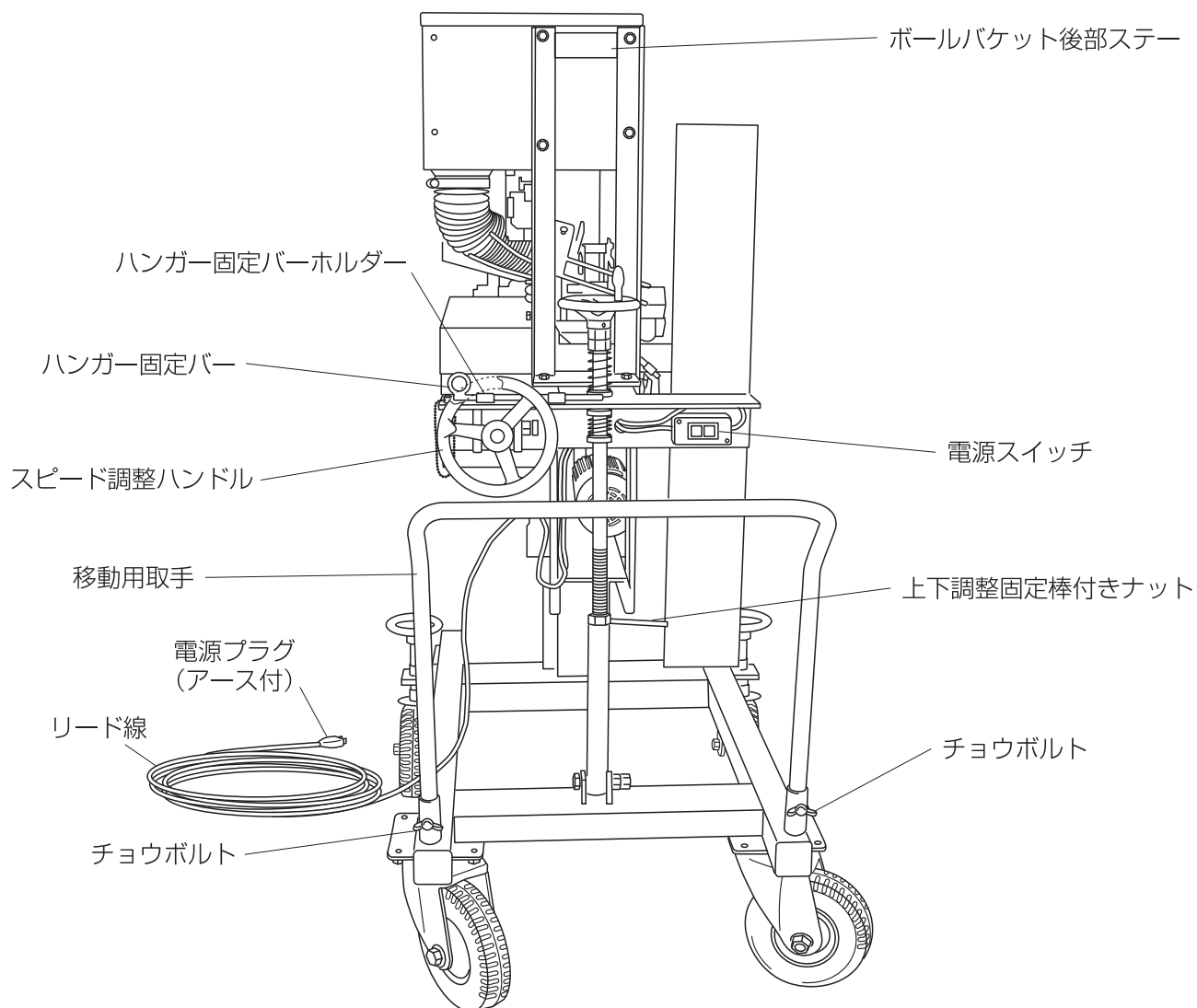
注）コードリールは全巻時 7A を超過した場合コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあり、大変危険です。

●コードリールはプラグ 1 つで 15A 以下か、または 4 つのプラグ合計が 15A 以下で使用してください。

各部の名称

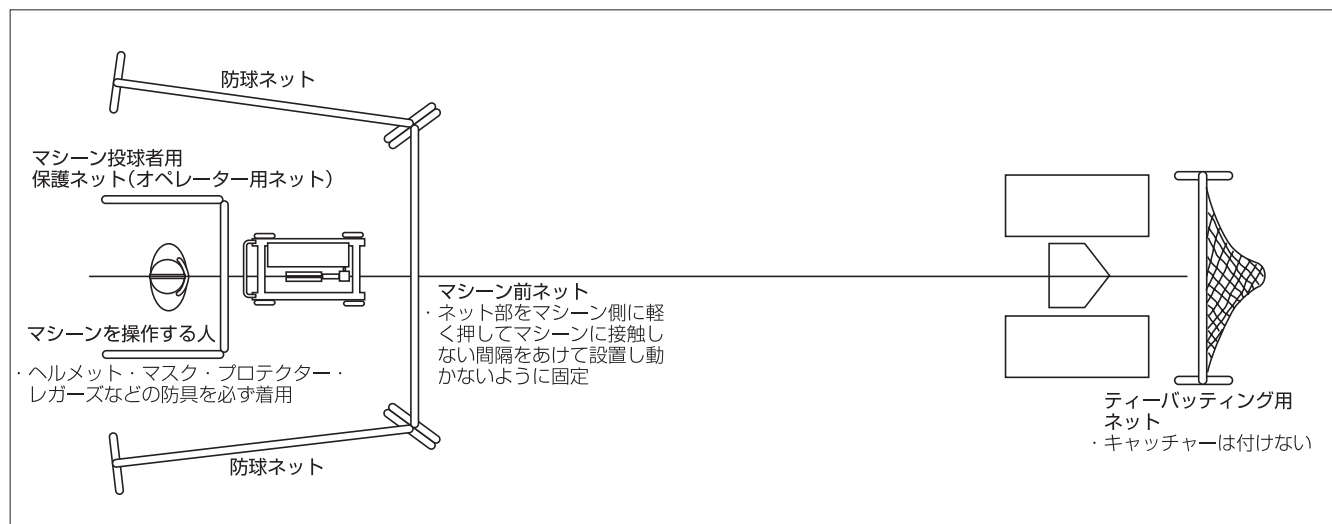
ボールバケット
ボールバケット前ステー
ボールバケット前板
スクリーン
テンション
メインチェーン(#40)
モーター(200W)
本体固定ハンドル
空気入りタイヤ
自在空気入りタイヤ
タイヤ固定皿

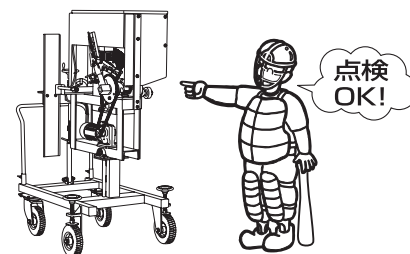
各部の名称

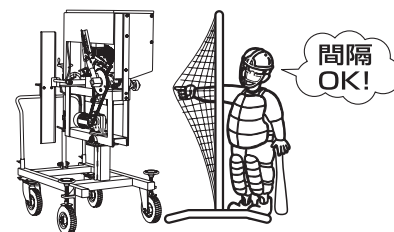
ボールバケット後部ステー
ハンガー固定バーホルダー
ハンガー固定バー
スピード調整ハンドル
電源スイッチ
移動用取手
上下調整固定棒付きナット
電源プラグ
（アース付）
リード線
チョウボルト
チョウボルト
球送りスプリング
スプリングカバー（上）
上下調整ハンドル
減衰ロール
ショック吸収
スプリング
ブレーキ
ハンガー固定バー
差し込み穴
ハンガーベアリング
スプリングハンガーA
スピード調整
ハンドル
メインスプリング
スプリングハンガーB
スプリングカバー（下）

マシーンの使用手順

◉「安全上のご注意」（P 1 ～ 4）をよく読んで使用してください。

◉電源に発電機をご使用の場合は、**発電機の取扱説明書をお読みの上操作**してください。

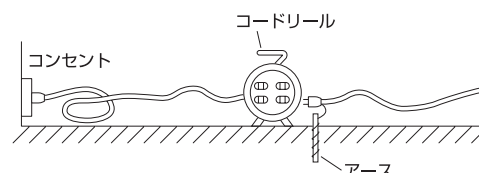
◉マシーンとホームベースの関係、及びマシーン前ネット・ティーバッティング（トスバッティング）用ネット・マシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を下図の要領で配置してください。（**安全を考え配置**してください）また、投球者はヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を必ず着用してください。

1 マシーンを使用位置に移動させマシーンを設置し、本体固定ハンドルでマシーンを固定します。

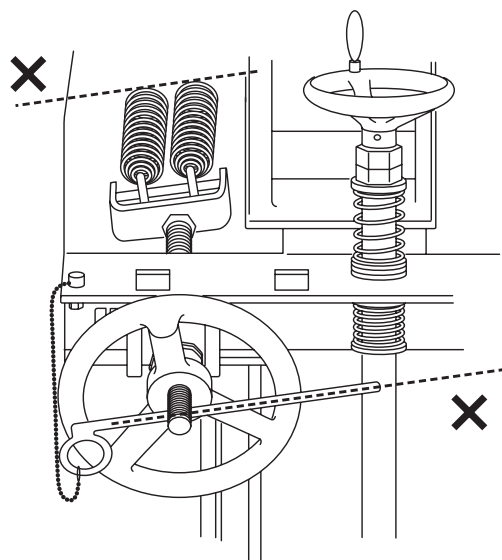
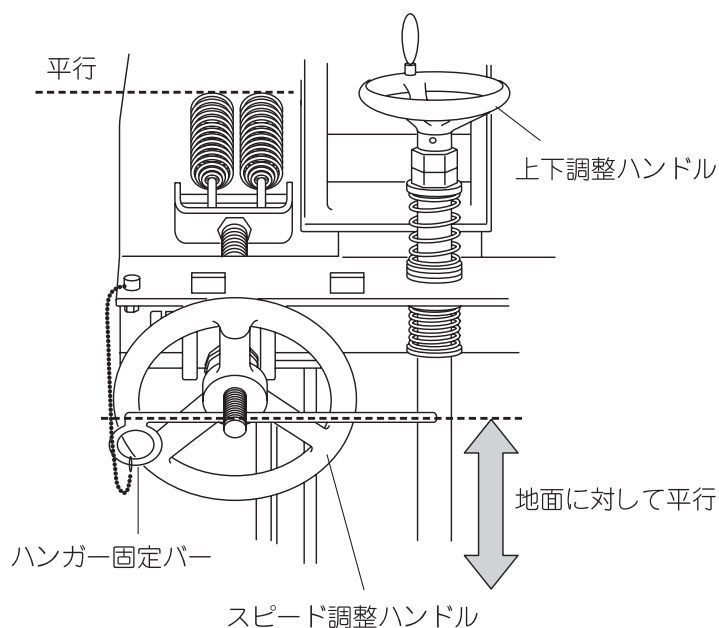
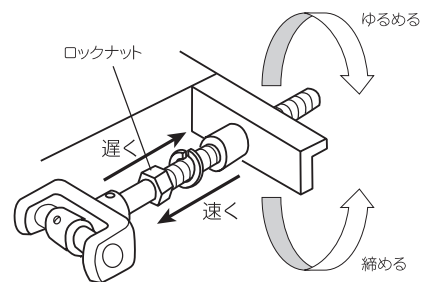
2 マシーン前ネット･マシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を設置し、マシーンを使用する人は安全の為に必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を使用してください。

3 マシーン本体や使用するネットに異常箇所がないか点検してください。

4 コードリールを全て引き出し、マシーンの横で打球の当たらないところに設置してください。

5 ボールバケットにボールを入れてください。（型式 BAL）

6 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、アースを接地した後、電源プラグをコンセントに接続します。

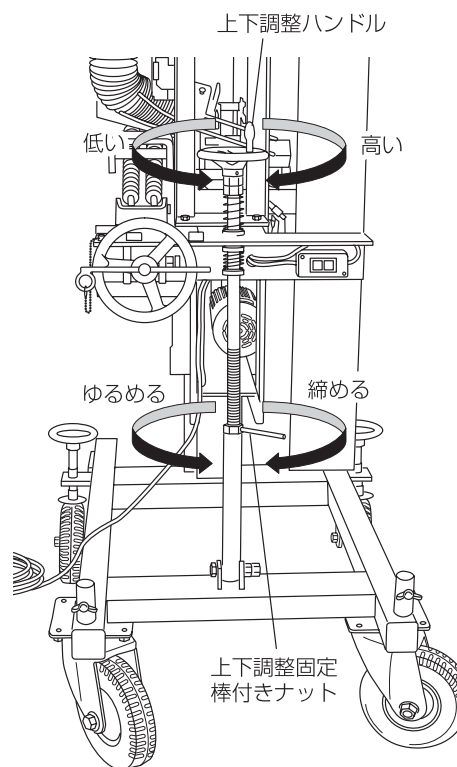
7 マシーン付近やバッターボックスに人がいないことを確認し、アームなどの回転物に接触物がないか確認した上で電源スイッチを ON にし、必ず声をだし合図をしながら試投してください。

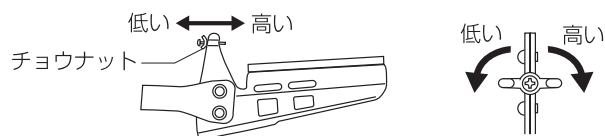
※試投の際には必ずバッター・キャッチャーはバッターボックス付近に近づかないでください。

マシーンの使用手順

⑧※初回使用時はこの項目の作業をする必要はありません。
ハンドルを左に回してゆるめロックナットを適当な位置に合わせてください。
ロックナットは前方へ回すと速く、後方へ回すとスピードは遅くなります。
ハンガー固定バー差し込み穴にハンガー固定バーを差し込んでください。
ハンガー固定バーを地面に対して平行に保ち（スプリングが左右平行になるように）、スピード調整ハンドルを右に回して固定してください。

※スピード調整ハンドルだけを回して固定した後に、ハンガー固定バーを使用してスプリングを左右平行に修正すると、固定されていたスピード調整ハンドルがゆるみ方向に回り、使用中にハンドルがゆるんでスピードが不安定になる恐れがあります。必ずハンガー固定バーを使用しスピード調整ハンドルを固定してください。またハンドルのゆるみは部品破損の原因となりますのでご注意ください。

※スプリングをゆるめすぎると外れる恐れがあります。

※スピード調整ハンドルで調整したあとは必ず試投してコントロールの確認をしてください。

⑨コントロールを確認していきます。ボールが上下にずれている場合は、上下調整ハンドルで調整します。上下調整固定棒付きナットをゆるめ上下調整ハンドルを右に回せばボールは高めに左に回せばボールは低めに投球されます。

マシーンの使用手順

ボールが高めに投球される場合

チョウナットをゆるめ、ネジを左に回すと、投球が低めになります。調整したあとは必ず、チョウナットを締めて固定してください。右に回すと高めになります。

※使用時にロックナットがゆるんだ場合は再度締めなおして使用してください。

⑩調整が終われば上下調整固定棒付ナットがきっちり締まっているか確認してください。

⑪試投が終わりましたら、再度安全に注意をして使用してください。

⑫マシーンの使用が終了したら、電源スイッチを OFF にしてください。

⑬スピード調整ハンドルをゆるめてください

ハイスピードの状態で停止させていると、始動時にモーターに大きな負担がかかり、始動しない場合があります。又、スプリングの耐久性が落ちる原因となります。（スプリングがのびてしまいます。）

⑭電源プラグをコンセントから抜き、アースを外します。

⑮本体固定ハンドルをゆるめマシーンを移動してください。
（移動の時にはハンドなどを持たないようにしてください。ハンドが曲がりコントロールが悪くなります。）。

⑯ボールバケット内へのボールの補給は、電源スイッチを OFF にし、マシーンを停止した状態で行ってください。（型式 BAL）

マシーンが２～３回空打ちをしても、マシーンを停止させるまで、絶対にマシーンの前に出ないでください。ボールバケット内にボールが残っている場合があります。（型式 BAL）

使用ボールと各部のチェック

よりよいコントロールを得る為と故障防止の為に

- 下記のようなボールは使用しないでください。
  ウレタンボール、レインボール、革ボールなど、種類の違うボールをまぜて使用しないでください。硬式球にて、革の浮いたボール、糸の切れているボール、水を含んだ重いボールは使用しないでください。

- ボールバケット内での球づまりはマシーンの故障原因となります。また、コントロールも乱れ事故につながる危険性もあります。

※特に革の浮いたボール、糸の切れているボールはボールバケット内にて球づまりや、ボール出口とボール送りレバーとの間にはさまれる可能性が高いです。万一はさまった場合バケット用モーターがロックされる為、モーターの焼損につながります。(保証外)

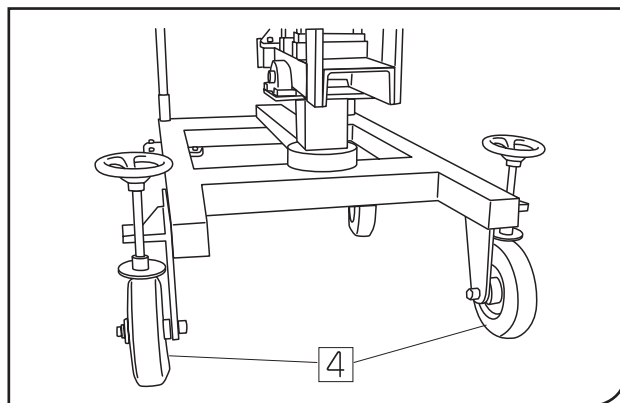
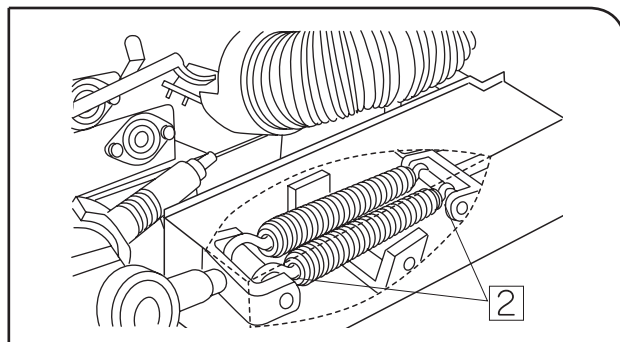
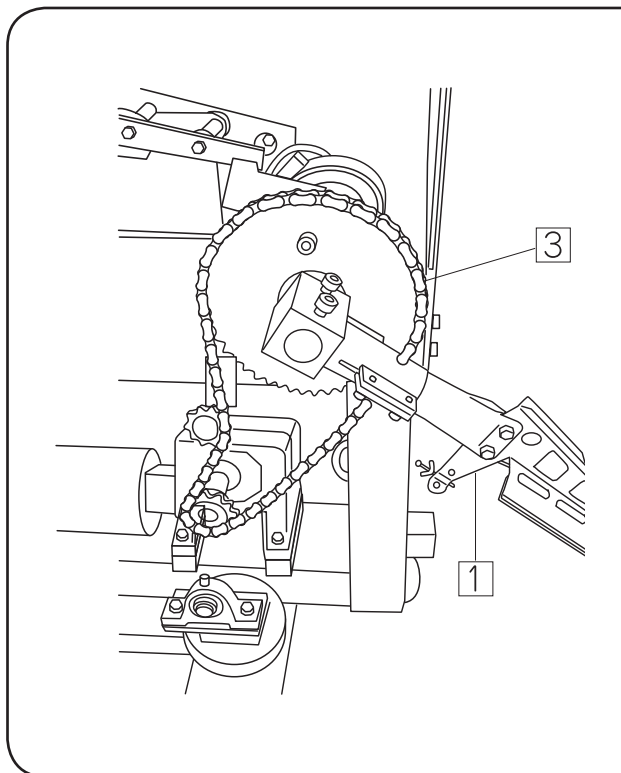
マシーンのチェックポイント

- 安全にご使用していただく為、必ず次のことを使用前に確認してください。

1 ウデ、ハンド部に亀裂などがないか

2 スプリングが正しくかかっているか

3 チェーンが切れていないか、油切れをしていないか

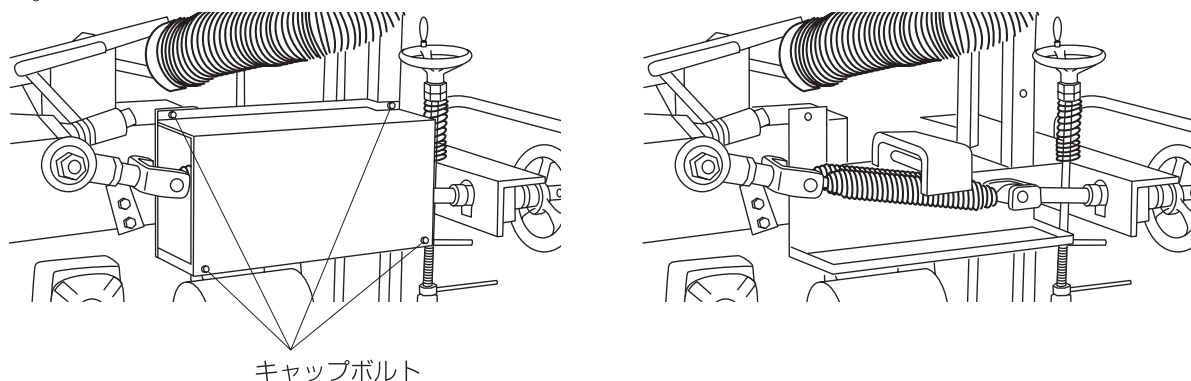
4 タイヤの空気は正しく入っているか

各部の点検及び調整方法

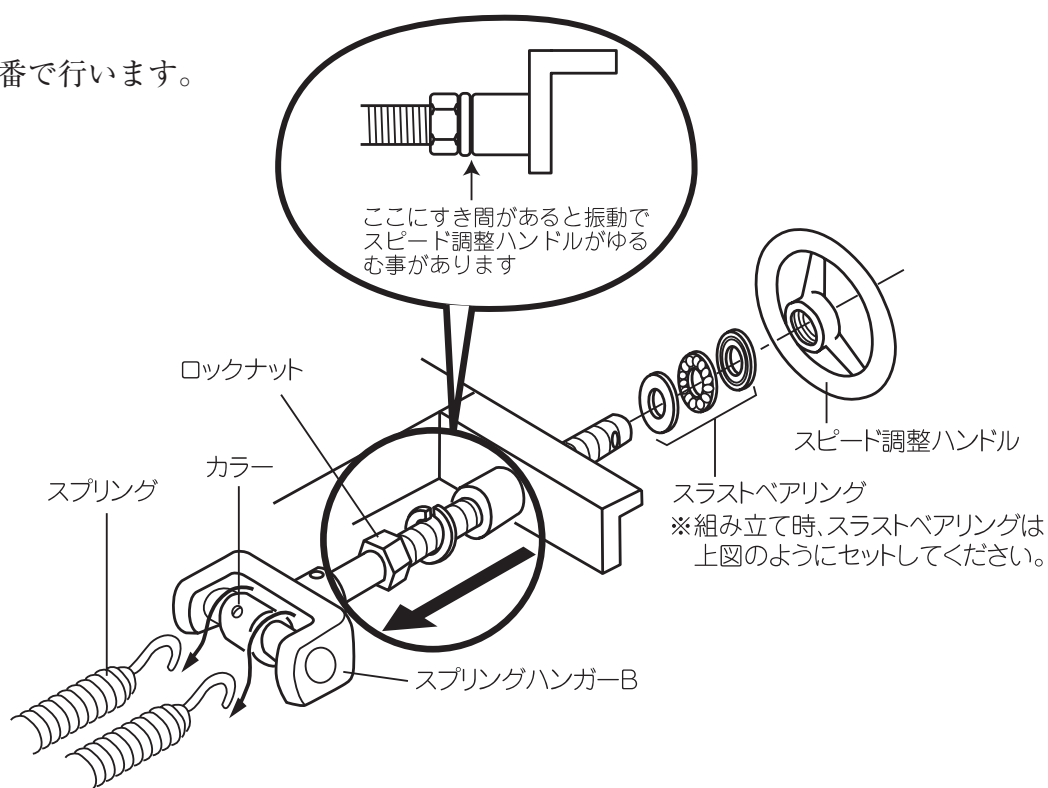
※マシーンをよく理解された方が
行ってください。

㊟ このマシーンの各部の調整・部品の交換に際しては、必ずマシーンのスイッチを切り、部所によってはスプリングをはずした状態で行ってください。

スプリングの交換について

スプリングは消耗品です。もし切れた場合は２本同時に交換をしてください。
（１本のみ切れた場合も、残りの１本も寿命が近づいていると考えられます。）

スプリングカバー（上）の４箇所のキャップボルトを外し、スプリングカバー（上）を外してください。

スピード調整ハンドルを左に回し抜き取りスプリングハンガーを→印側に抜き取りスプリングを付け替えます。

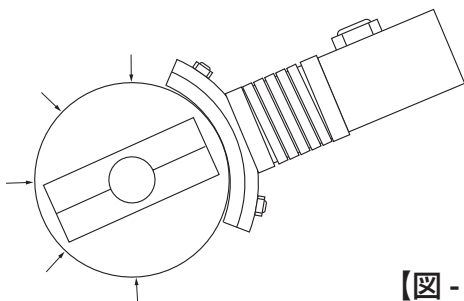
取り付けは逆の順番で行います。

㊟ひっぱった状態で保管しないでください。（スプリングがのびてしまい速度が出なくなることがあります。）
㊟スプリングがさびないように油を差してください。（スプリングがさびると、折れやすくなります。）
㊟スプリングは専用品以外使用しないでください。（故障の原因につながります。）

各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が
行ってください。

給油について

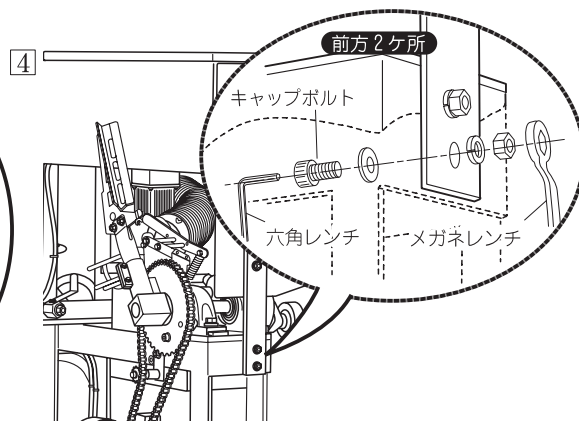
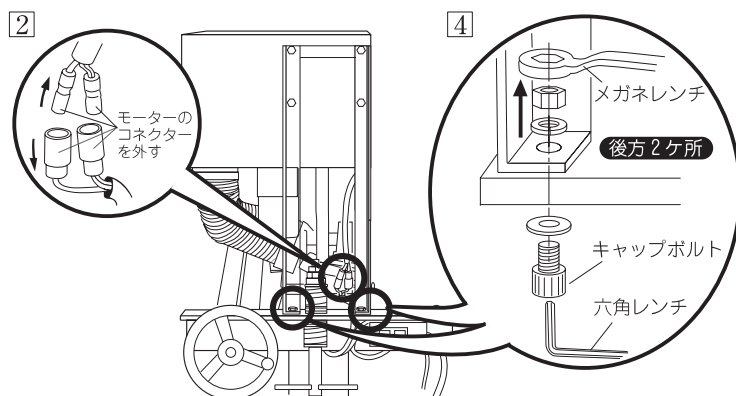
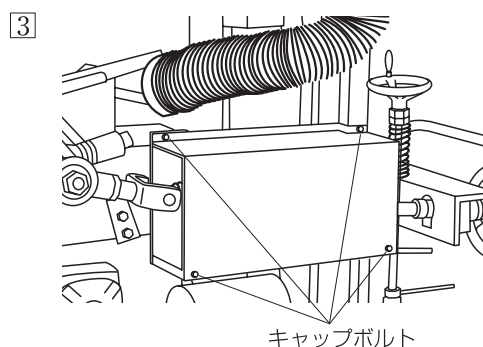
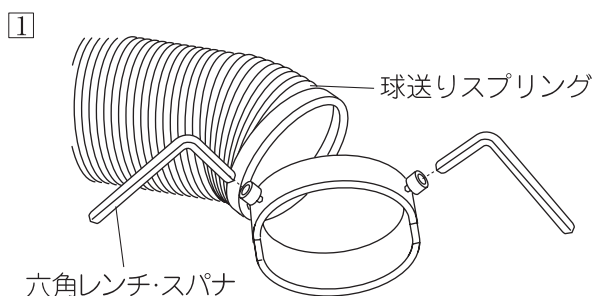
マシーンをよりよい状態に保つために防錆スプレーまたは、潤滑油スプレーにて、下記の部分に給油をしてください。
○チェーン　○メインスプリング　○上下調整ハンドル　○スピード調整ハンドル（P7、8 各部の名称参照）○カム【図 -1】

【図 -1】

ボールバケットの取り外し方

㊟必ず２人以上で作業をしてください。
1球送りスプリングを図の所で外します。

2ボールバケットの右後部の所でボールバケット用モーターのコネクターを外します。

3スプリングカバー（上）のキャップボルト（１本）を六角レンチで外します。

4ボールバケットの支柱３本の下のキャップボルト（４本）とナットを付属の六角レンチとメガネレンチで取り外します。（※必ずナットを先に外してください。）
これで本体とボールバケットは分離できます

各部の点検及び調整方法

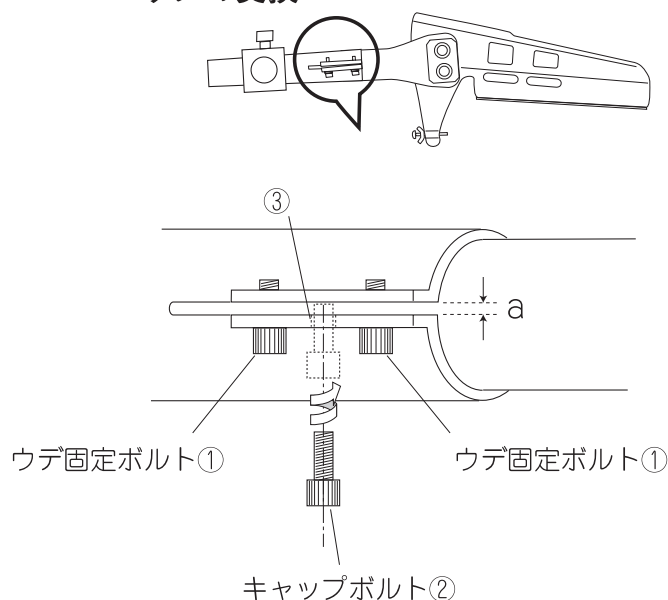
※マシーンをよく理解された方が行ってください。

ウデ・ハンドの交換

◉ウデ・ハンドは消耗品です。亀裂などの症状が出始めると寿命ですので交換をしてください。

ウデの抜き取り

1 ウデのウデ固定ボルト①を付属の六角レンチでゆるめます。

2 付属のキャップボルト②を③の穴に締め込むことによりａのすき間が開いてウデを抜くことができます。

ハンドの交換

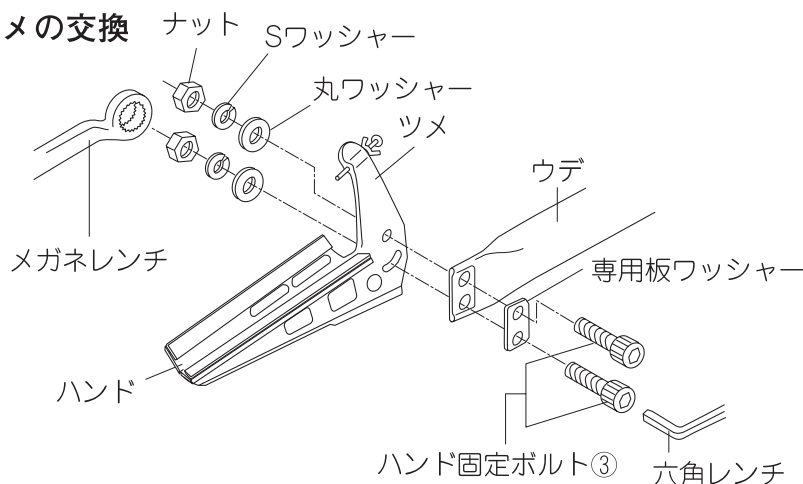
1 ハンド固定ボルト③を六角レンチとメガネレンチで外して、新しいハンドを取り付けます。

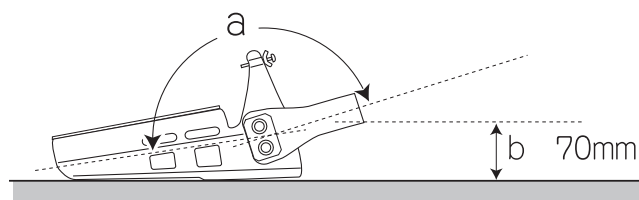
2 ハンドを取り付けたウデをマシーン本体の奥まで差し込み（確実に奥まで差し込んでください。）キャップボルト②を抜き取ってからウデ固定ボルト①を締めてください。

※片方のボルトだけを締めつけず必ず両方のボルトを均等に締めてください。

※抜き取ったキャップボルト②はなくさないように保管しておいてください。

各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が
行ってください。

ハンドの調整

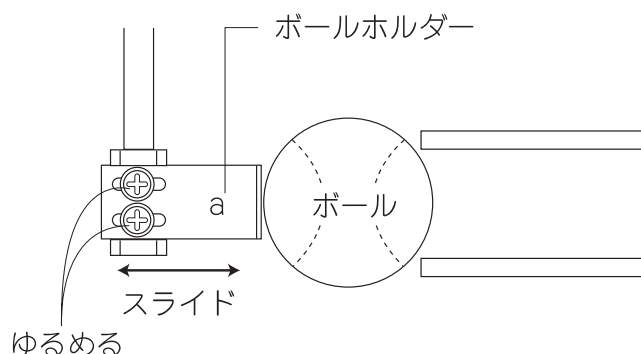
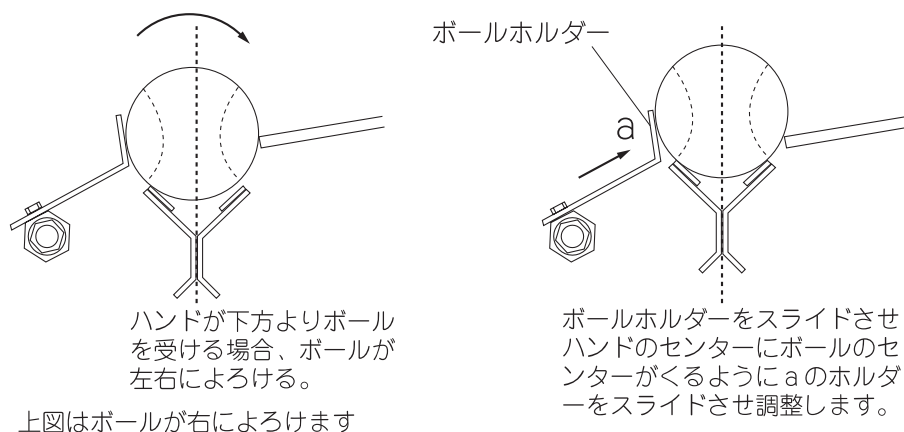
◉ハンドの角度 a が小さいとボールは低めになります。少しの角度ズレでも大きくコントロールが変わりますので、水平な台にハンドを置き下図を参考に角度の調整をしてください。

（出荷時寸法 b は 70mm でストライクになるように調整されています。）

㊟締め具合いがゆるいとハンドとアームの角度が変りだんだんと高めに投球されるようになります。

各部の点検及び調整方法

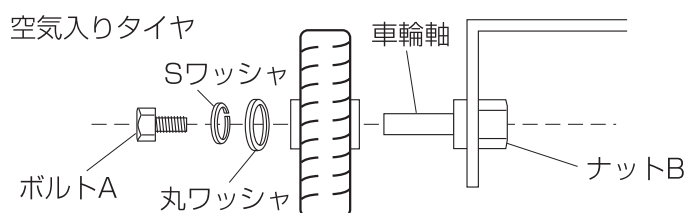
※マシーンをよく理解された方が
行ってください。

ボールホルダー部の調整

- コントロールが悪い場合にボールホルダーの位置が適切でないことがあります。投球時にマシーンサイドおよび後方側より見て、ハンドがボールを拾い投球する時にボールがハンドの上で静止していないとコントロールが悪くなります。

⚠ 安全のために、必ず、スプリングをはずしてから作業を行ってください

空気入りタイヤの交換

- ボルトＡを抜いてタイヤを抜いてください。空回りするときはナットをおさえながらボルトＡを抜いてください。

- 空気入りタイヤの空気はチェックしてください。タイヤに空気が入っていないと振動が大きくなり、コントロールが悪くなったりマシーンの耐久性が低下します。空気は市販の空気入れで入れることができます。

各部の点検及び調整方法

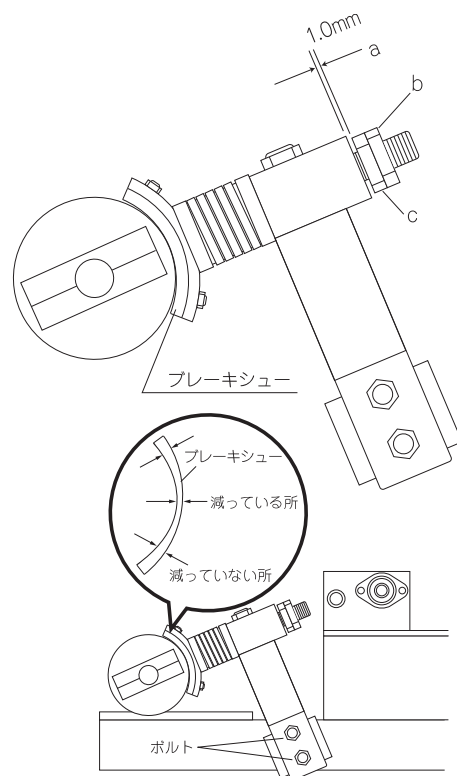
※マシーンをよく理解された方が
行ってください。

ブレーキの調整方法

ブレーキの制動があまくなってきますと、マシーン投球時の振動が大きくなりコントロールが悪くなってきます。
このような時は、ブレーキの調整、またはブレーキシューの交換が必要です。

ブレーキの調整

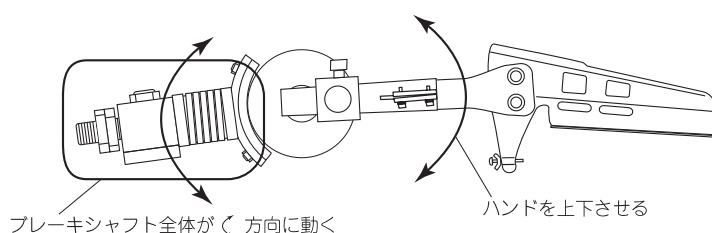
ブレーキがきいている状態にて a の箇所に 1.0mm 程度のすき間があるのが正常です。ブレーキのききが悪い場合このすき間が無くなっています。
b、c のナットを左に回転させ a の箇所にすき間をつくってください。
1.0mm 程度のすき間が出来れば c のナットにスパナをかけ固定し b のナットを右に締め付けロックします。
もしブレーキがききすぎている時も、a のすき間を 1.0mm 程度に調整してください。

（ハガキ 1 枚が 0.25mm ですから 4 つ折りにして入る程度のすき間が適切です。）

上図①のナットを２ヶ所取りはずしブレーキユニットを取りはずし販売店に持ち込んでください。

ブレーキシューの交換

ブレーキシューが減ってない所と比較して 3 分の 1 までうすくなりましたら取り換えの時期です。販売店にご依頼ください。

注意

下図のようにハンドを手で上下に動かし、ブレーキシャフト全体が上下に大きく動く場合は、ブレーキ全体の取り替えが必要です。販売店にご依頼ください。

トラブルシューティング

①スイッチを入れても作動しない

〈確認〉		〈方法〉
●コードリールに電気はきてますか。	→	他の電気製品又はテスターでチェック。
●電源スイッチ内部が破損していないか。	→	お買い上げの販売店にご相談ください。
●スプリングを引っ張った状態で電源スイッチを入れてないか。	→	電源スイッチを切り、スプリングをゆるめて再度電源スイッチを入れ確認。
●ボールバケット内のモーターは回転しています	→	ボールバケット内を確認する。
	→	回転している場合は、電源スイッチからメインモーターまでの配線をチェックしてください。

②ボールが落ちてこない

●ボールバケット内の円板に取り付けているウレタンが欠落していませんか。

→ボールバケット内を確認。
欠落している場合はビス２本をはずしウレタンの向きを換えて取り付けてください。

●ボールバケット内の円板が回転していますか

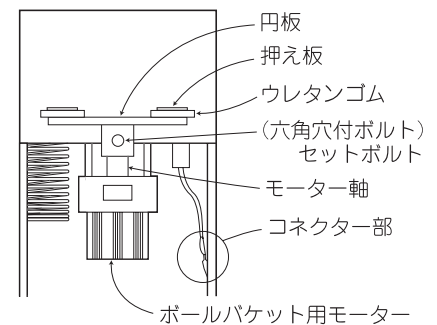
→ボールバケット内にて円板部にボールがかみ込んでいないか、ボールを取り出し確認。

→ボールバケット内に異物が入っていないか確認。

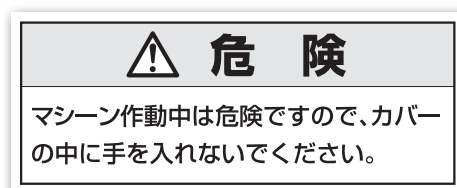
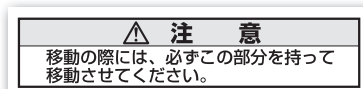
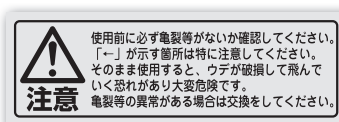
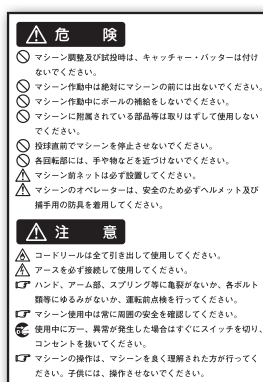
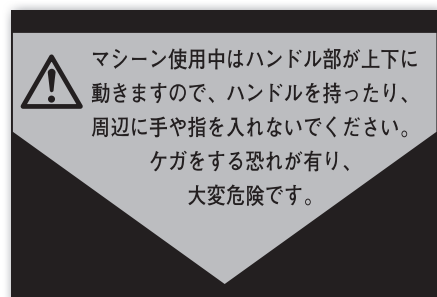
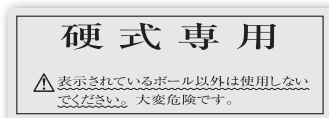
→ボールバケット用モーターのコネクターが抜けていないか確認。

→円板下部のセットボルトがゆるんでから回りしていないか（モーター軸のみ回転しているが円板は回転していない）六角Ｌ型ハンドルにて締め付けてください。

→コネクター部分をテスターでチェック。

①、②の処置をしても作動しない場合は、モーターの交換の必要がありますので販売店にご相談ください。

警告シールについて（一覧）

注　意
移動の際には、必ずこの部分を持って移動させてください。

危　険
マシーン作動中は危険ですので、カバーの中に手を入れないでください。

スピード調整ハンドル操作方法

※初回使用時はこの項目の作業をする必要はありません。
ハンドルを左に回してゆるめロックナットを適当な位置に合わせてください。
ロックナットは前方へ回すと速く、後方へ回すとスピードは遅くなります。
ハンガー固定バー差し込み穴にハンガー固定バーを差し込んでください。
ハンガー固定バーを地面に対して平行に保ち（スプリングが左右平行になるように）、スピード調整ハンドルを右に回して固定してください。

ゆるめる
ロックナット
遅く
速く
締める

※スピード調整ハンドルだけを回して固定した後に、ハンガー固定バーを使用してスプリングを左右平行に修正すると、固定されていたスピード調整ハンドルがゆるみ方向に回り、使用中にハンドルがゆるんでスピードが不安定になる恐れがあります。必ずハンガー固定バーを使用しスピード調整ハンドルを固定してください。またハンドルのゆるみは部品破損の原因となりますのでご注意ください。

※スプリングをゆるめすぎると外れる恐れがあります。

※スピード調整ハンドルで調整したあとは必ず試投してコントロールの確認をしてください。

硬 式 専 用
表示されているボール以外は使用しないでください。大変危険です。

（使用球により異なります。）

マシーン本体に貼ってあるシールがはがれたり、消えたりした場合は、すぐに販売店に連絡してください。無償にて送付致します。
また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

仕　様

BAL ボールバケット付仕様

ピッチング速度	MAX110～140km/h(硬式)　MAX115～140km/h(軟式)
用途分類	硬式・軟式
使用電源	AC100V，50/60Hz
電動機	AC モーター 200W × 1 台(メイン), AC モーター 25W×1 台(ボールバケット)
定格電流	4.5A
寸法	約たて 102cm ×よこ 86cm ×高さ 167cm
投球口高さ	約 150cm
本体総質量	約 200kg
付属品	六角レンチ（2 本），メガネレンチ（1 本），マシーンカバー

BAM ボールバケット無仕様

ピッチング速度	MAX110～140km/h(硬式)　MAX115～140km/h(軟式)
用途分類	硬式・軟式
使用電源	AC100V，50/60Hz
電動機	AC モーター 200W × 1 台
定格電流	4.5A
寸法	約たて 102cm ×よこ 86cm ×高さ 152cm
投球口高さ	約 150cm
本体総質量	約 175kg
付属品	六角レンチ（2 本），メガネレンチ（1 本），マシーンカバー

消耗部品について

下記部品は消耗部品ですので、交換が必要となっております。

●交換部品

スプリング、ハンド、アーム、ブレーキ、減すいロールユニット、チェーン、バケット内ウレタン、スプリングハンガーA、スプリングハンガーB

アフターサービスについて

このアームマシーンBAL･BAMタイプには保証書を別途添付してあります。

保証書について

保証書は販売店でお渡ししますから、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

- **保証期間中は**

保証期間中に修理をお受けになる場合は､恐れ入りますがお買い上げの販売店にご相談ください。
※保証期間中でも、有料修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

- **保証期間を過ぎているときは**

まずお買い上げの販売店にご相談ください。
修理により、商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

サービスをご依頼される前に

この説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
その際、製品番号（商品名)、および品番、故障内容を詳しくお申し付けください。

操作及び取り扱いミスによるマシーンの故障・損傷は保証外になりますのでご注意ください。

工場定期点検について

ピッチングマシーンは使用開始後、２～３年経過毎に必ず工場定期点検〈有料〉が必要となっております。

工場定期点検では未然に故障・事故の発生を防止し、常に良い状態で安全にご使用いただく為に各部品の点検・調整を行います。

工場定期点検は工場到着後約 10 日間（実働）で完了いたします。別途部品交換〈有料〉が必要な場合は最大約 14 日(実働)が追加で必要になります。(時期によっては異なる場合があります。)

※商品のご持参、お持ち帰りの交通費、また、送付される場合の送料、梱包費、その他の諸掛り費用はお客様のご負担となります。(適切な梱包の上、ご送付ください。) ご返送の場合も同様にお客様のご負担となります。
ご不明な点がございましたら、ご購入された販売店にご相談ください。

☆商品の仕様は予告なく変更・改良する場合がありますので、あらかじめご了承願います。

11.01 05 00
09.12 05 HT
Printed in Japan